

朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

平成30年6月29日(金)

7月号 児童数 892名

TEL:048-461-0410



【学校教育目標】 「心豊かに自ら学ぶたくましい人間の育成」

思いやりのある子 自ら学ぶ子 元気な子

【めざす学校像】 「学ぶ喜びと感動のある学校」

【朝霞六小の合い言葉】 ～花あり 歌あり 笑顔あり～



「特別の教科 道徳」の授業について

校長 木村 直美

小学校では、今年度から、道徳が教科となり、「特別の教科 道徳」として、配布された教科書等を用いながら「教科」としての枠組みの中で新たなスタートを切っています。学校の教育活動のすべてを通して取り組まれる「道徳教育」の本質や考え方は従来と変わりませんが、道徳の授業は、これまでとは大きく変わります。

「特別の教科 道徳」の目標は、

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解をもとに、自己をみつめ、物事を多角的・多面的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践態度を育てる。

です。この目標に則って、A:主として自分自身に関すること、B:主として人との関わりに関すること、C:主として集団や社会とのかかわりに関すること、D:主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること の4つの内容項目について学習していきます。そして、大きく変わるのは、「考える道徳」「議論する道徳」への転換です。

読み物資料の登場人物の気持ちをとらえたり、人物の気持ちに共感させたり、何が大切か、どうすることが望ましいのかを言わせたり書かせたりするこれまでの授業から、

- ①人物に共感し、自分との関わりで気持ちを想像する(自己との関わりで道徳的価値を考える道徳)
 - ②どのような理由で大切なのか、どうすることが考えられるのか(自分との関わりで多角的・多面的に考える道徳)
- など、子どもたち一人一人が“自分自身の問題ととらえ、向き合う”ことで、「考える道徳」「議論する道徳」への転換がはかられていきます。

難しい話になりましたが、今年度の道徳の授業はすでに計画通り始まっています。各学級では、昨年度から本校で積極的に取り組んでいる「主体的・対話的な学び」を通し、他者からの多様な考え、多角的な思考に触れ、自分の考えを深めていくという学び方を道徳授業でも実践しています。

ご家庭でも、ぜひ、お子さまから話を聞いたり、道徳の教科書を手にとってみたりしていただきたいと思います。



道徳の授業(4年生)



算数「巻き尺実習」(3年生)



調理実習(5年生)